

## スペイン語スクラブル世界大会に初挑戦!

黒田有彦

クロスワード形式でアルファベットのコマを使って単語を作り得点を競うボードゲーム「スクラブル」のスペイン語の世界大会（第22回）が昨年2018年11月にメキシコユカタン半島 Playa del Carmen であり、日本から私が初参加しました。結果は120人中最下位でしたが3勝し、最終日はアルゼンチンの女性プレイヤーと最下位争いの末惜敗しましたが、スペイン語圏のプレイヤー等と戦い貴重な経験となりました。

アルゼンチン、メキシコ、ベネズエラなど中南米から9か国、欧州からはスペイン、フランス、スイス、スウェーデンが参加し、ラテン人口の多い米国からも5名の参加でした。アルゼンチンからは最多の38人、スペイン20人、ベネズエラ11人、開催国メキシコからは23人でした。

今回の世界チャンピオンはアルゼンチンの Luis Picciochi で個人最多3度目の頂点に立ちました。

「スクラブル」は1931年にアメリカで生まれ、英語以外でも30言語以上の版があり、世界大会は仏・英・西の3言語で毎年開催されています。私は、英語に関しては過去9回日本代表で世界大会に出場しました。スペイン語の世界大会は1997年にマドリードでの大会が初めて、実は、私はオブザーバーとして参加しました。初代チャンピオンはスペイン人でしたが、アルゼンチンとスペインは過去各7回世界チャンピオンを出した強国で以下ベネズエラ(5回)と続きます。

マインドスポーツのひとつでもあるスクラブルと私の出会いは40年以上前、アメリカ留学中に遡ります。ゲームで勝つには語彙力も必要ですが、スペイン語の場合は動詞の活用形を頭に入れ、ゲームでよく使う2~3文字単語を覚えていれば、持ちコマの運や駆け引きで十分勝機もあります。



対戦の合間のひと時（左から2番目が筆者）

今後の私の目標は、今年8月にパナマシティで開催の世界大会に出場し、10勝以上をめざします。同時に、日本国内においてスペイン語のスクラブル愛好者を増やし、より多く大小の大会が開催できれば本望で、微力ながらサポートを惜しまず邁進したく、ご質問等ありましたら、以下までご連絡頂けましたら幸いに存じます。

email : [supersonico1958@gmail.com](mailto:supersonico1958@gmail.com)

(くろだ くにひこ：当協会会員)

黒田有彦氏ご紹介：

大学のゼミでラテンアメリカの国際関係を学ぶ。(マルビナス戦争の頃)

卒論は19世紀のアルゼンチンへの移民問題。

サッカー、ポップス(好きな歌手は Pimpinela)、フォルクローレ、タンゴ、マテ茶好き。

ここ数年沢山映画鑑賞を重ね、特にアルゼンチン映画は大のお気に入り。